

グローバル・レポート 2010-2012

19条フォーカス・グループのガイドライン

フォーカス・グループ

19条は、知的障害のある人が地域で自立して生活するのに必要な要素について述べています。

- ・最初の部分は、他の人との平等に基づく選択についてです。
- ・次の部分は、サービスと支援についてです。
- ・最後の部分は、障害のある人が使える一般の人向けの制度についてです。

フォーカス・グループでは、自立した生活と地域におけるインクルージョンがどのような意味を持つかについて、参加者の中で明確にします。19条に添って、現状とのギャップやどのような課題があるかを、明らかにします。そしてどのようなアイデアや行動が可能か、議論します。

ディスカッションのグループは、ファシリテーター1人、記録係1人と10人から20人の参加者から構成され、必要な時間は2から3時間です。

ファシリテーターは、国際育成会連盟が用意する資料を使って、簡単な導入を行います。地域や事情に応じて、この資料は変更することが可能ですし、独自のものを作成してもかまいません。大切なことは、出席者全員が話す機会を与えられ、また意見を聞いてもらえるようにすることです。すべての人の意見が尊重されるべきです。

フォーカス・グループから次のような情報を収集して下さい。:

1. 地域についての説明（都市部なのか地方なのか、規模）
2. 参加者のプロフィール
3. 地域生活に関する参加者の経験談、入所施設に関する参加者の経験談
4. どこに住んでいるかが、障害のある人が地域にインクルージョンされているかどうかによりどのような影響があるのか。
5. 障害のある人の家族がどこに住んでいるかが、その家族が地域にインクルージョンされているかどうかによりどのような影響があるのか。
6. 人々を地域にインクルージョンしているまたは入所施設から出している戦略を明らかにする。

詳細につきましては、全日本手をつなぐ育成会までお問い合わせください。